

2024年11月22日

札証IR個人投資家向け会社説明会

札幌証券取引所

東京証券取引所スタンダード市場

証券コード 8104



クワザワホールディングス株式会社

項目

◆会社概要・沿革

◆事業内容

(1) 事業の概要

(2) クワザワグループの強み

(3) 業績

(4) 株主還元方針

◆今後の展望

◆サステナビリティへの取組

◆ 会社概要・沿革



商号	クワザワホールディングス株式会社
本社	札幌市白石区中央2条7丁目1番1号
設立	1951年2月1日(創業1933年)
資本金	4億1,736万円
代表者	代表取締役社長 桑澤嘉英
事業内容	資材販売、工事施工、新築・リフォーム、運輸、製造、加工販売、サービスのグループ ^o 経営管理
発行済株式総数	16,694,496株
証券コード	8104 (札証、東証スタンダード)
売買単位	100株
グループ ^o 従業員数	1,009名 (2024年3月末現在)



(株)クワザワが札幌証券取引所に上場



クワザワグループ本社ビルを竣工

クワザワホールディングス株式会社 誕生
持株会社体制へ移行し、商号を
クワザワホールディングス(株)に変更

創業90周年

1933年
昭和8年

1963年
昭和38年

1973年
昭和48年

2018年
平成30年

2020年
令和2年

2023年
令和5年

1951年
昭和26年

1971年
昭和46年

2003年～2018年
平成15年～平成30年

2018年
平成30年

2019年
平成31年

2022年
令和4年

資本金500万円で
(株)桑澤商店を設立

商号を(株)クワザワに変更

(株)クワザワが
東京証券取引所市場第一部に指定

(株)クワザワが
東京証券取引所市場第二部に上場

M&Aにより子会社10社増加

クワザワホールディングス(株)
東京証券取引所スタンダード市場に移行



■株主優待Q U Oカードの絵柄に採用されている「狸」についてご紹介します。

当社創業者の桑澤清は、店の知名度を高めるべく大きな「狸」と「猫」の像を店頭に設置しました。評判を呼び、当社のシンボルとなったこの狸像をモデルとして生まれたのが、当社マスコットの「たんたん」です。



1935年から見守る「守り神」



お色直しを繰り返した現在の「守り神」

企業理念

私たちは、安全で快適な生活空間を創造し、豊かな社会の実現に貢献します。

経営理念

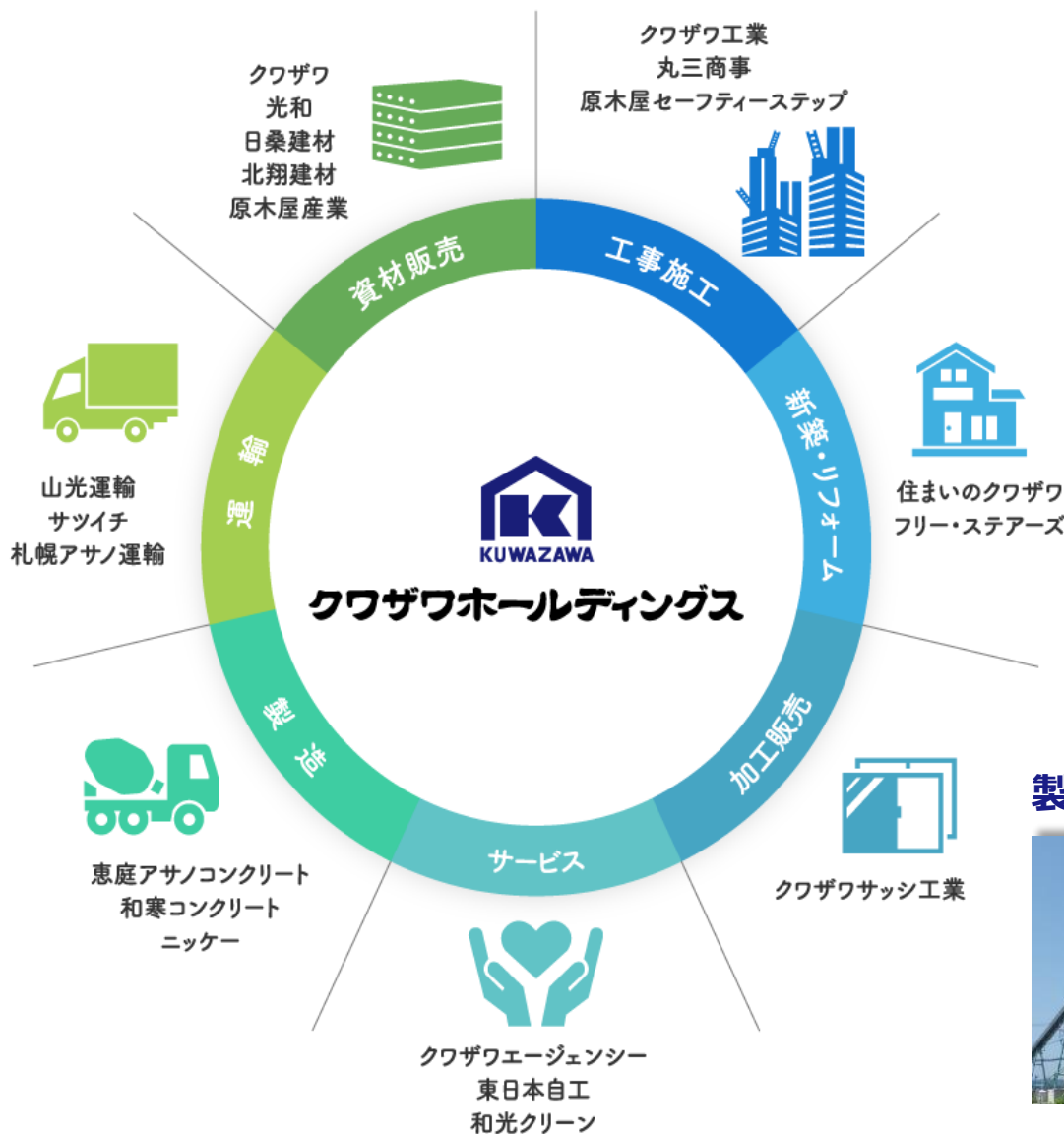
- 一、社業を通じて地域社会の生活向上に貢献する。
- 一、お客様から強く信頼される会社となる。
- 一、利益ある成長を遂げる。
- 一、働きがいのある会社をつくる。
- 一、仕事を愛し、会社を愛する。

スローガン

「自分が燃えれば他人^{ひと}も燃える」

行動指針

- 一、お客様満足を全力で追求する。
- 一、創造的・革新的であり続ける。
- 一、社会の法令と社内のルールを遵守する。
- 一、人材育成に力を注ぐ。
- 一、上司は自ら率先垂範する。



資材販売（基礎資材）



工事施工（内装工事）



製造（生コン製造）



運輸（建築土木）



クワザワグループ本社ビル（札幌市）



(株)クワザワ東京事業所
(東京都千代田区神田)

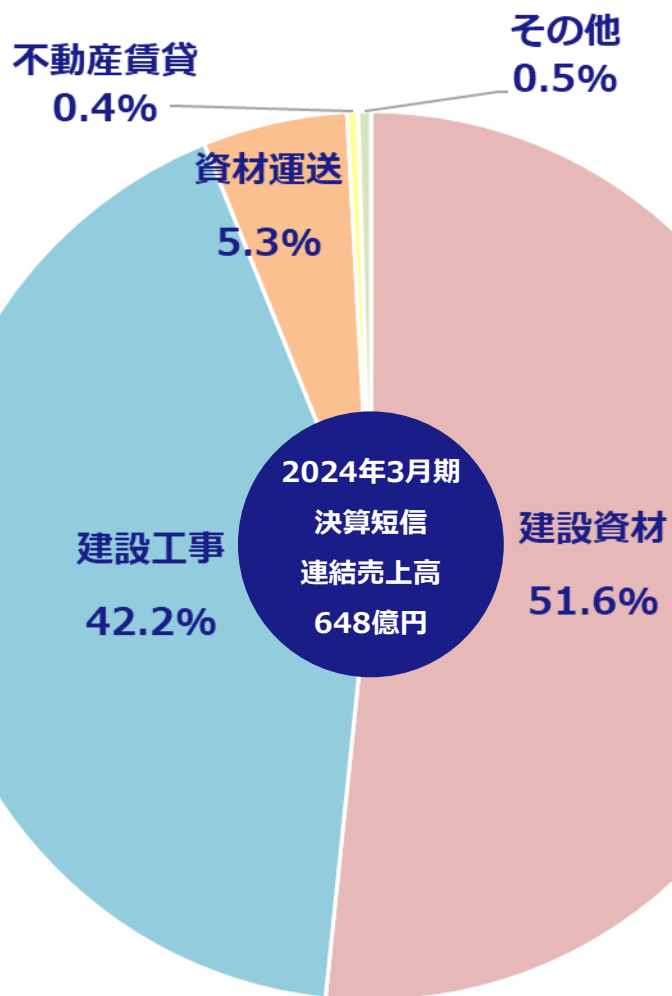


(2024年4月1日現在)

◆ 事業内容



2024年3月期決算短信 売上高構成比



建設資材事業



- 基礎資材販売
- 生コンクリート及び住宅用・ビル用サッシなどの製造・加工販売
- 建設資材販売など

建設工事事業



- 建築工事一式
- 仮設資材リース
- 住宅 設計・販売
リフォーム・リノベーションなど

資材運送事業



- 建設資材輸送
- 自動車賃貸業
- トラッククレーン事業など

不動産賃貸・その他事業



- 倉庫、事務所、土地の賃貸
- 太陽光発電事業
- 各種保険業務など

1. 幅広い分野への事業展開によるグループの「総合力」

- 建材・土木資材1,000社以上の取引で北海道最大の専門商社。
- 商社でありながら強力な施工体制を持っている。
- 「資材販売」「工事施工」「新築・リフォーム」「運輸」「製造」「加工販売」「サービス」の7つの分野で事業を展開。
- グループ全20社が持つ専門的な能力・ネットワークを最大限に発揮し、建設事業をトータルコーディネートできることが強み。



2. 確かな「技術力」と盤石な「施工体制」

- グループの社員全体で、保有資格数は、約500に上る。
(建築士、施工管理技士、電気工事士、コンクリート技士、土木施工管理技士など)
- 北海道を中心に約1,500社に上る工事協力業者（職方数で約4,000人）
北海道・東北・関東圏での工事に対応する施工体制を構築。
- 協力業者様と共に安全衛生協力会を組織し、定期的に安全大会を開催。
事故防止に努め、質の高い工事を提供。



3. 建設資材分野の北海道トップ企業としての「信頼」と「実績」

- 1933年に「㊟タイル煉瓦問屋」として創業以来、北海道で事業を行ってきた。
- 今ではグループ中核会社の「株式会社クワザワ」と「株式会社クワザワ工業」はそれぞれ北海道における建設資材商社、内装工事業者のトップを走る企業となった。
- 地元北海道で培った信頼と実績を糧に、日本の快適な住環境の創造に向けて、日々邁進していく。

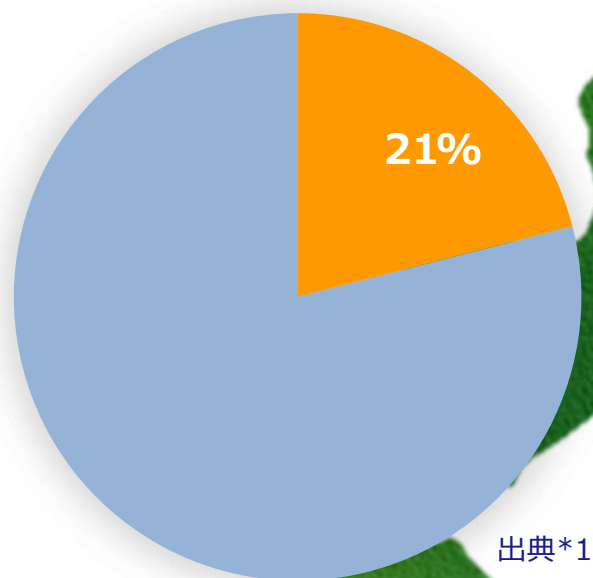


■生コンクリート・セメント販売におけるシェア 1位（北海道）

北海道のセメント販売量

164万トン

セメント販売シェア

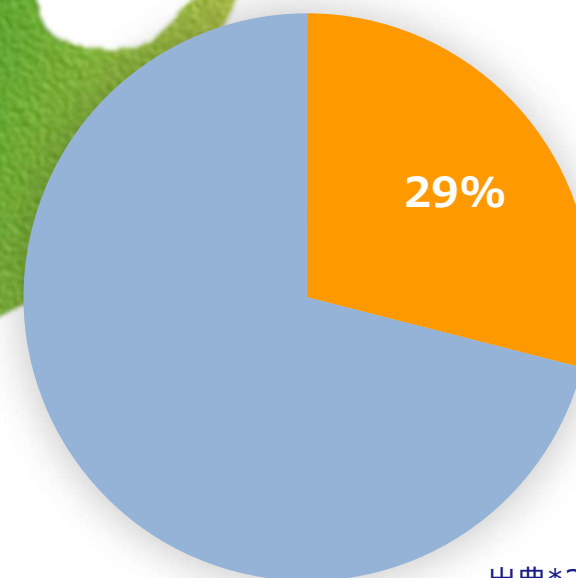


出典*1

北海道の生コン販売量

305万³m

生コン販売シェア



出典*2

※シェアについては当社推計

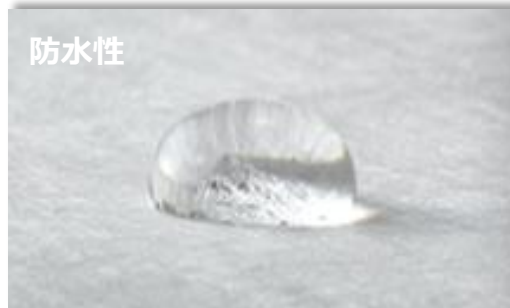
注) 出典はAppendixにまとめて記載

■タイベック®は、様々な特性を併せ持ち、多くの建築現場で活躍する特殊な不織布です。



透湿性

優れた透湿性で構造材の乾燥状態をキープ



防水性

湿気は通しても、外部からの雨水の侵入を防ぐ



強靱性

施工中の引っ掻きや引っ張りにも耐える強度

■ 1985年から販売をスタート

当社が全国代理店として、販売を開始

■ 四季がある高温多湿の日本の住環境に対応

- ・ 雨水や結露から木造住宅を守る
- ・ 日本の木造住宅には欠かすことのできない商品

■ 20年保証

40年以上の実績と厳密な商品検査に基づき、防水性について保証制度を導入

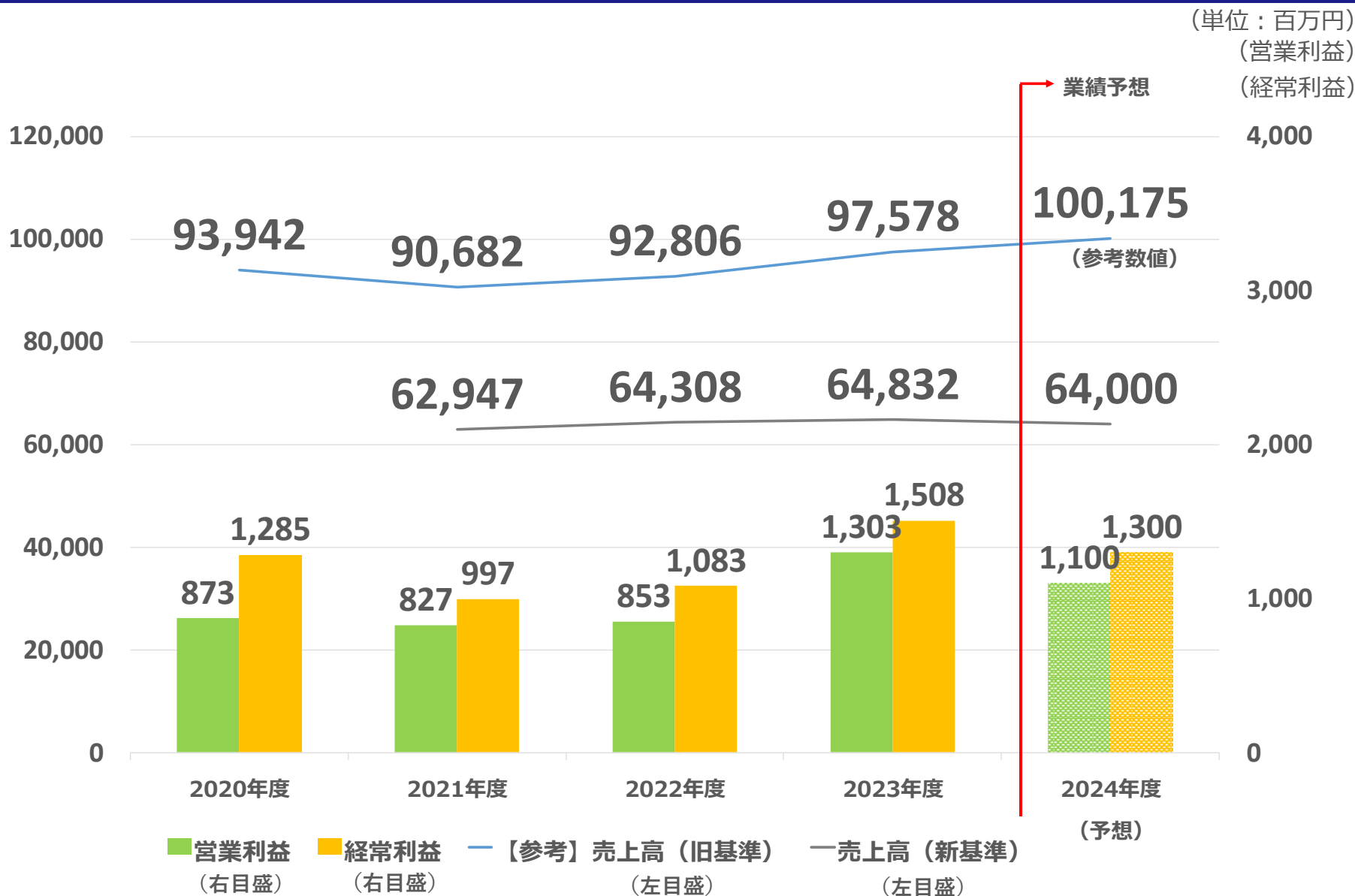
※「デュポン™タイベック®」は、旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社の商品です。

注) 出典はAppendixにまとめて記載

■ 「タイベック®」の施工現場



出典*1





2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場取引所 東 札

上場会社名 クワザワホールディングス株式会社

コード番号 8104 URL <https://www.kuwazawa-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画本部長 (氏名) 信太 孝樹

TEL 011-860-5080

半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

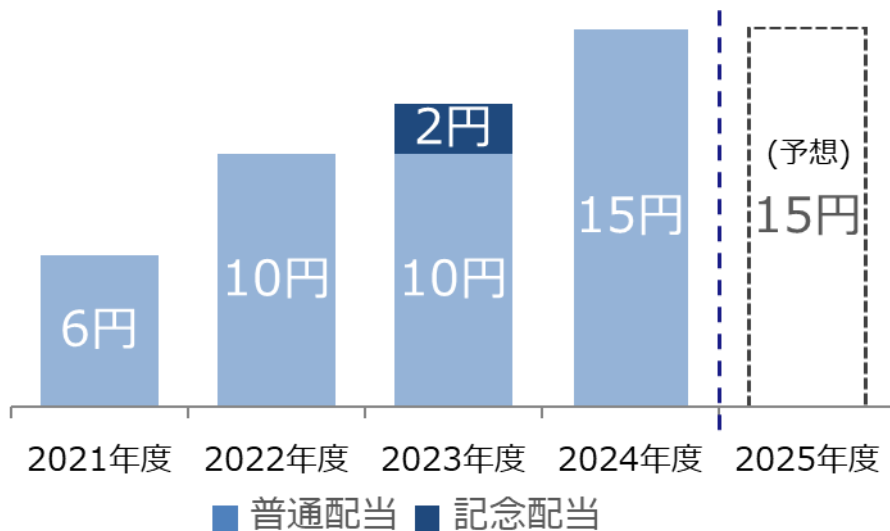
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	31,691	△2.2	685	53.0	823	46.0	507	60.2
2024年3月期中間期	32,406	6.6	448	11.8	563	0.9	316	3.5

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 552百万円 (44.7%) 2024年3月期中間期 382百万円 (21.7%)

■ 配当金について

将来に備えた経営基盤の強化に配慮しながら、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、連結業績及び財務状況等を勘案し、安定的な配当水準を維持することを基本としております。

■ 配当金の推移及び予想



■ 株主優待制度について

対象となる株主様	毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記載された100株以上の株主様	
優待内容	保有株式数	優待内容
	100株以上500株未満	QUOカード 1,000円分
	500株以上1,000株未満	QUOカード 2,000円分
	1,000株以上	QUOカード 3,000円分
贈呈時期	毎年6月に送付予定(年1回贈呈)	



◆ 今後の展望



■ 2024年6月北海道・札幌市を金融・資産運用特区の対象地域に選定

■ G X 投資 今後10年間で150兆円超

そのうち最大40兆円程度は道内へ

■ 国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを活用

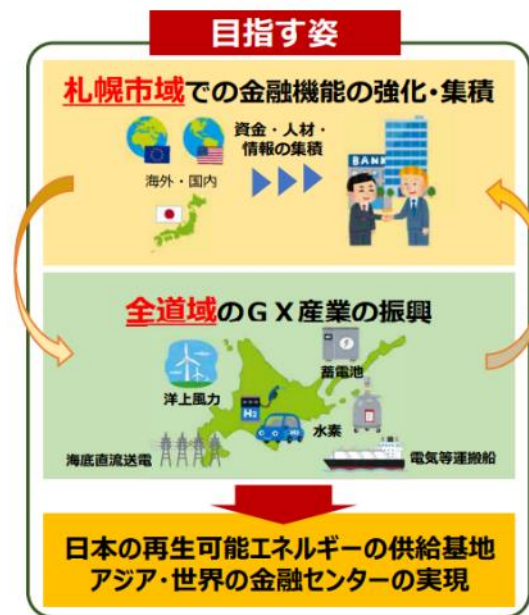
全国一の再エネポテンシャル

【風力発電】 全国1位

【太陽光発電】 全国1位

【中小水力発電】 全国1位

【地熱発電】 全国2位



出典*1

■ 再エネを「つくる」「ためる」「はこぶ」「つかう」

■ アジア・世界の金融センターの実現

注) 出典はAppendixにまとめて記載

道・札幌市 金融特区に選定

G X 集積道内始動

出典*2

■ 苫小牧ー石狩ルートをDX・GX拠点へ



注) 出典はAppendixにまとめて記載

出典*1

■ Rapidus（ラピダス）が千歳市に進出

千歳市に最先端半導体の製造工場を建設

工場建設には作業員 最大約6,000人

■ 総額5兆円規模の投資

■ 千歳市に進出する関連企業数 約30社（2024年8月現在）

2040年までに千歳市に転入する関係者 約7,900人



出典*1

Rapidus 半導体工場のイメージパース（右側建物 IIM-1）

14年間
道内総生産11兆円増
ラピダス効果最大18.8兆円

出典*2

注) 出典はAppendixにまとめて記載

■ 北海道のデータセンター立地優位性

- ① 冷涼な気候 ② リスク分散と広大な土地 ③ 再エネポテンシャル

■ 官民連携により、北海道へのデータセンターの誘致を強化

石狩市
再エネデータセンター第1号（東急不動産）



総事業費 約200億円

出典*1

総務省の一部助成を受け、
2026年3月（完成予定）

苫小牧市
大規模な計算基盤を備えた
データセンター（ソフトバンク）



出典*2

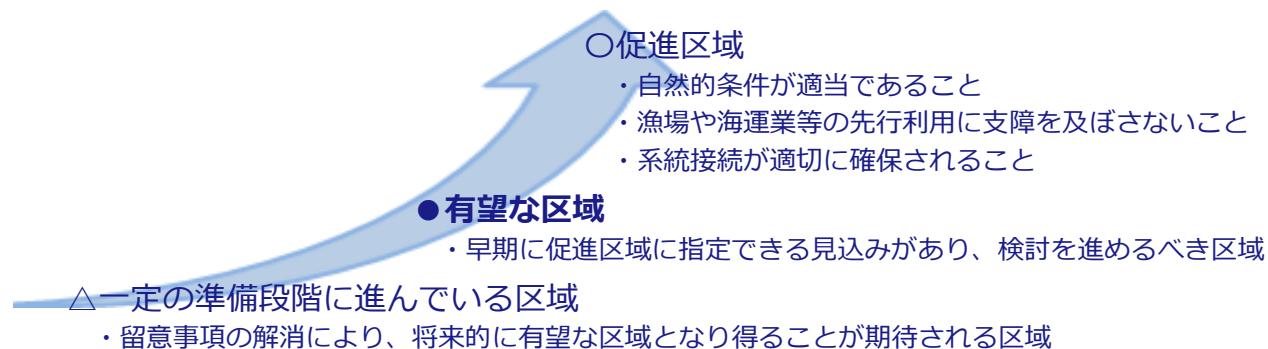
2026年度中の開業を目指す

ソフトバンク
経産省、300億円補助
苫東DC 先行整備650億円

出典*3

注) 出典はAppendixにまとめて記載

■ 促進区域の指定に向け、北海道5区域を「有望な区域」に進展



■ 5区域で想定される総出力 最大385.5万キロワット

泊原発の総出力（207万キロワット）
の2倍弱の水準



最短1年で整備可能に
洋上風力道内5区域格上げ

出典*1

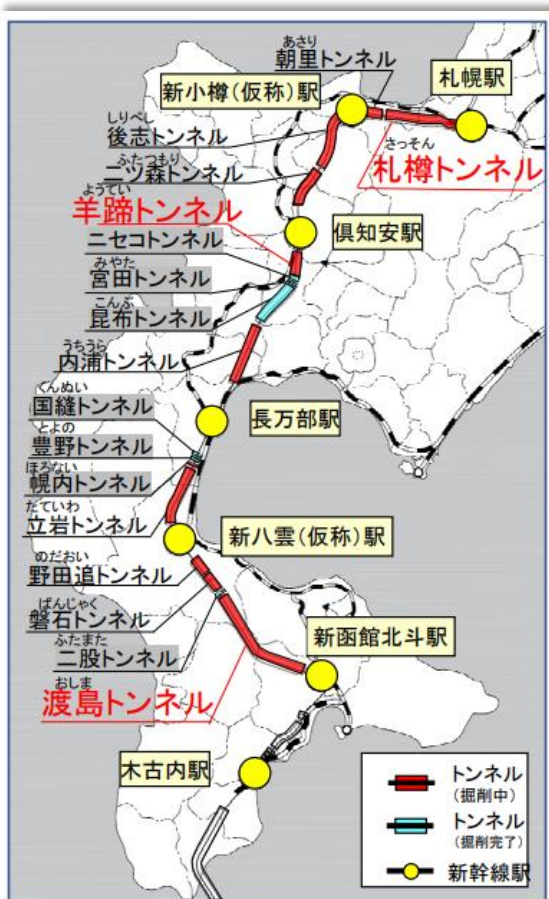
注) 出典はAppendixにまとめて記載

■ 建築費用：約2兆3159億円に変更(2023年3月31日発表)

当初：約1兆6714億円(2012年6月29日発表)

■ 北海道新幹線は全体212kmの約80%(169km)がトンネル

2024(令和6)年4月1日現在



○トンネル工事の進捗状況

No.	トンネル名	延長(km)	掘削延長(km)	掘削率(%)
1	札幌トンネル	26.2	6.9	26%
2	朝里トンネル	4.3	3.9	89%
3	後志トンネル	18.0	14.6	81%
4	二ツ森トンネル	12.7	10.1	79%
5	羊蹄トンネル	9.7	6.0	62%
6	ニセコトンネル	2.3	2.3	100%
7	宮田トンネル	0.1	0.1	100%
8	昆布トンネル	10.4	10.4	100%
9	内浦トンネル	15.6	11.8	76%
10	国縫トンネル	1.3	1.3	100%
11	豊野トンネル	1.6	1.6	100%
12	幌内トンネル	0.6	0.6	100%
13	立岩トンネル	17.0	16.7	98%
14	野田追トンネル	8.2	7.9	96%
15	磐石トンネル	6.7	6.2	92%
16	二股トンネル	1.5	1.5	100%
17	渡島トンネル	32.7	23.8	73%
	合計	168.9	125.6	74%

掘削完了(全体の約10%)

工区名	延長(m)	掘削延長(m)	掘削率(%)
桑園	346	115	33%
札幌	8,446	1,430	17%
富丘	4,500	1,821	40%
星置	4,400	684	16%
銭函	4,000	1,138	28%
石倉	4,506	1,734	38%

工区名	延長(m)	掘削延長(m)	掘削率(%)
比羅夫	5,569	3,605	65%
有島	4,166	2,434	58%

工区名	延長(m)	掘削延長(m)	掘削率(%)
上ノ湯	5,300	3,748	71%
上二股	4,540	3,545	78%
北鶉	5,510	5,010	91%
南鶉	3,900	1,238	32%
天狗	4,600	3,574	78%
台場山	3,500	1,310	37%
村山	5,365	5,365	100%

出典*1

現時点においても3~4年程度の遅延が生じており2030年度末完成・開業の目標達成は極めて困難な状況

注) 出典はAppendixにまとめて記載



出典*1

ザ・札幌タワーズウエストタワー(98m)
イーストタワー(98m)



総事業費 約1,072億円

出典*2

大通西4南地区第一種市街地
再開発事業 (185m)



出典*3

北海道新幹線札幌開通(予定) 札幌駅

2024年 2025年 2026年 2027年 2028年 2029年 2030年 2031年



出典*4

サッポロ ホテル バイグランベル(100m)



総事業費 約1,666億円

出典*5

札幌駅南口北4西3地区第一種市街地
再開発事業(165m)



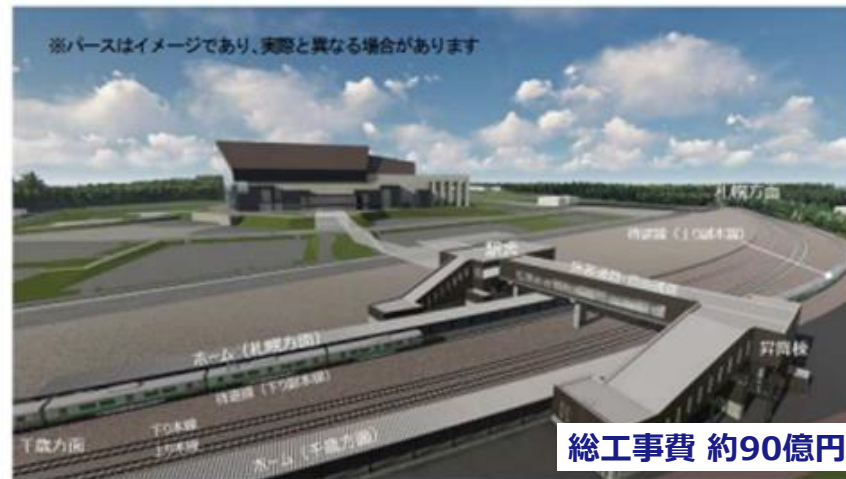
総事業費 約2,500億円

出典*6

北5西1・西2地区第一種市街地
再開発事業 (245m)

注) 出典はAppendixにまとめて記載

北広島市再開発（札幌市近郊）



北海道ボールパークFビレッジ隣接地に新駅 出典*1
2028年夏頃（完成予定）



レ・ジェイド北海道北広島
2026年9月（完成予定）出典*2



トナリエ北広島
2025年3月（完成予定）出典*3



北海道医療大学 移転予定 2028年4月（完成予定）
出典*4

注) 出典はAppendixにまとめて記載

※外観画像はイメージ

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策 概要

1. 基本的な考え方

- 近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、南海トラフ地震等の大規模地震は切迫している。また、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に老朽化するが、適切な対応をしなければ負担の増大のみならず、社会経済システムが機能不全に陥るおそれがある。
- このような危機に打ち勝ち、国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図る必要がある。また、国土強靱化の施策を効率的に進めるためにはデジタル技術の活用等が不可欠である。
- このため、「激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策」「予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策の加速」「国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進」の各分野について、更なる加速化・深化を図ることとし、令和7年度までの5か年に追加的に必要となる事業規模等を定め、重点的・集中的に対策を講ずる。

2. 重点的に取り組む対策・事業規模

- 対策数：**123対策**
- 追加的に必要となる事業規模：**おおむね15兆円程度を目途**

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策[78対策]	おおむね12.3兆円程度
(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策[50対策]	
(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策[28対策]	
2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策[21対策]	おおむね 2.7兆円程度
3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進[24対策]	おおむね 0.2兆円程度
(1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化[12対策]	
(2) 災害関連情報の予測、収集・集積・伝達の高度化[12対策]	
合 計	おおむね15兆円程度

3. 対策の期間

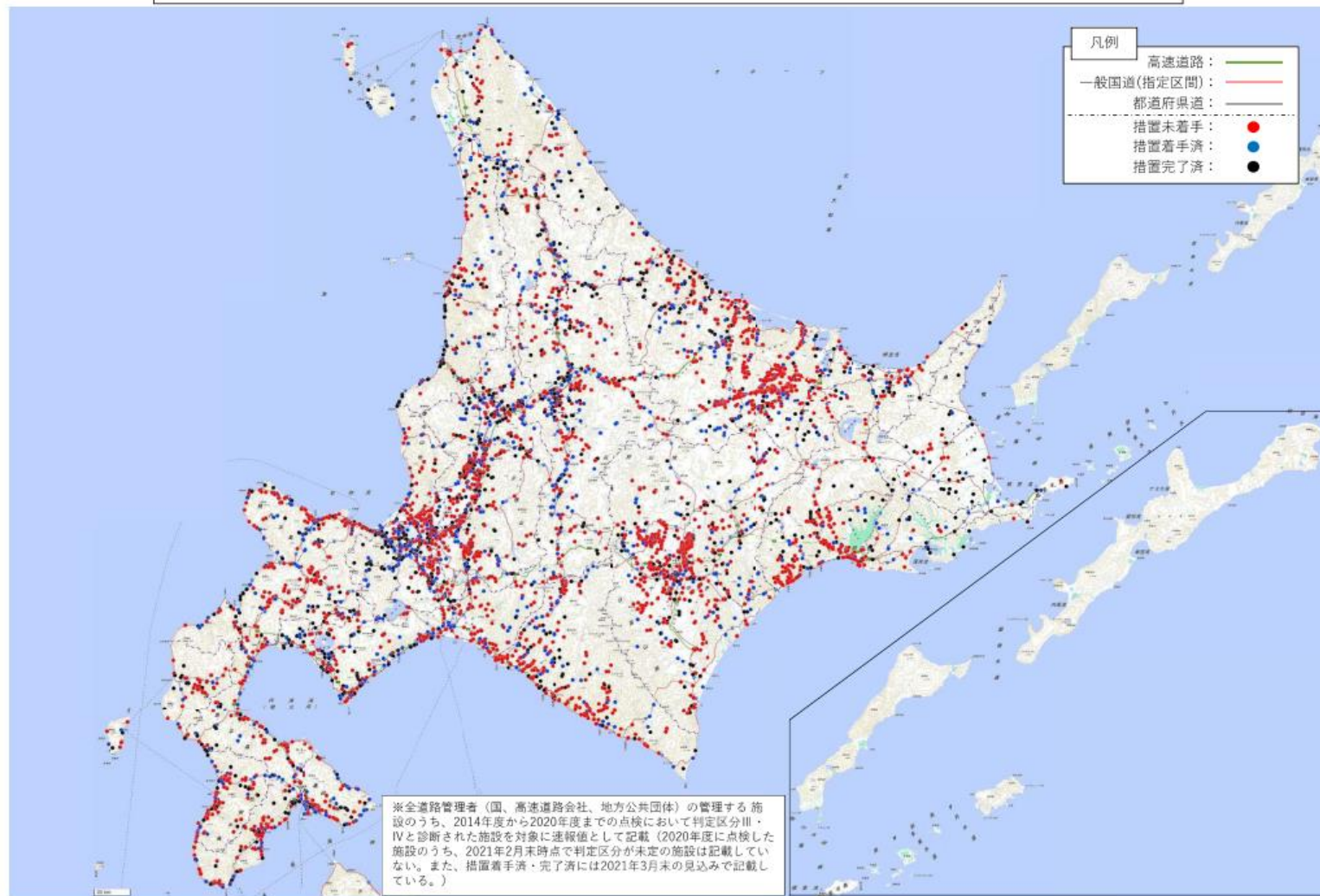
- 事業規模等を定め集中的に対策を実施する期間：令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）の**5年間**

注) 出典はAppendixにまとめて記載

出典*1

■道路施設の老朽化対策 北海道内の判定区分Ⅲ・Ⅳ橋梁の位置図

早期に対策を要する施設は5,380橋あり、これまでに2,336橋の修繕に着手済み



注) 出典はAppendixにまとめて記載

出典*1

■ 国は、国土強靱化計画として52,201億円（2024年度予算案）

今後大規模な災害等に備え、インフラ整備を強力に推進

■ 大規模津波等に備えた対策の推進

<防波堤等の整備>

国土交通省1,300億円の内数等（1,192億円の内数等）

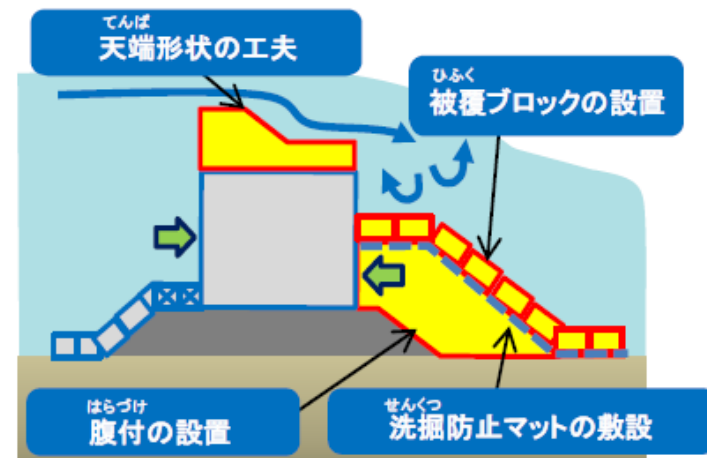
農林水産省1,270億円の内数（1,276億円の内数）

<海岸堤防等の整備>

国土交通省8,991億円の内数（8,551億円の内数）

農林水産省846億円の内数（850億円の内数）

注：（ ）内は、2023年度当初予算額



出典*1



粘り強い海岸堤防（緑の防潮堤含む）の整備

出典*1

注) 出典はAppendixにまとめて記載

■ 工事費 約1,800億円（準備工事：約700億円、設置工事：約1,100億円）

泊発電所の津波対策として新たな防潮堤の設置工事を開始

【工事の開始時期】 2024年3月28日

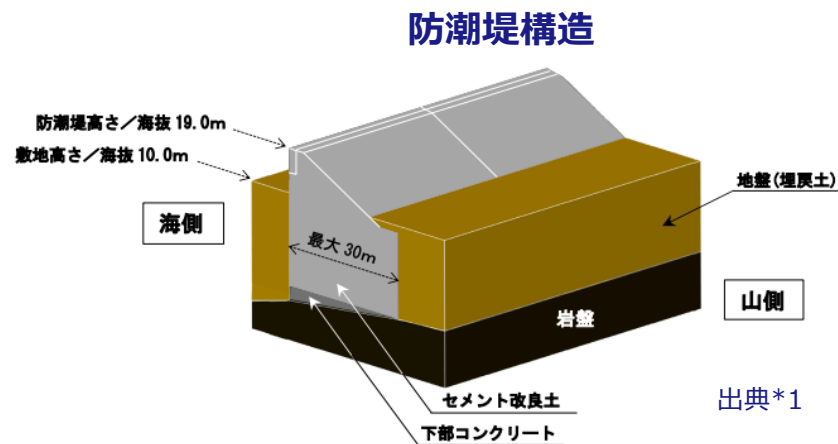
【工事の完了時期】 未定

【構造】 コンクリートおよびセメント改良土による
岩着支持構造

【高さ】 海拔19.0m

【延長】 約1,200m

【幅】 最大30m



出典*1

防潮堤関連概略スケジュール

防潮堤関連工事	2022年度	2023年度	2024年度以降～
準備工事	土砂運搬/セメント改良土製造設備の設置など ▲11月		
設置工事		土留め	掘削 コンクリート・セメント改良土打設

出典*1

防潮堤設置イメージ



出典*1

注) 出典はAppendixにまとめて記載

◆サステナビリティへの取組



■ ESG活動

環境への取組

- 環境に配慮した事業の推進
- クリーンエネルギーの創出
- 植樹活動
- 環境美化

関連するSDGs



社会への貢献

- 地域社会とのコミュニケーション
- 人材育成・人権の尊重・ダイバーシティの推進

関連するSDGs



ガバナンス

- ガバナンス体制の構築
- 内部統制システムの充実
- 働き方改革・健康経営宣言

関連するSDGs



■ 事業ごとのSDGs

建設資材事業

- 災害に強い商品を推進
- 耐久性の高い資材の販売推進
- 省エネルギー資材の販売推進
- 太陽光発電システム関連の提案
- 廃棄物のリサイクル

関連するSDGs



建設工事業

- 豊かな住環境を創造
- 低炭素住宅の普及
- 建物の長寿化
- 安定した施工体制による工事情質の確保
- 外国人技能実習制度への取組
- 職方支援
- 技能継承

関連するSDGs



資材運送事業

- 安全な輸送サービスを提供
- 交通安全教室へ参加
- 北海道交通遺児の会へ寄付

関連するSDGs



■ 事業ごとのSDGs

その他事業

- 木質バイオマス燃料の製造
- クリーンエネルギーの創出
- 保険の取扱

関連するSDGs



■ 【木質バイオマス燃料の製造】



※和寒環境整備事業協同組合の委託を受け製造

■ 【たんたんエネルギー・ファーム】



※2,050,000kW/年の発電力
(約7,300枚の太陽光パネルを設置)
一般家庭570世帯が一年間に使用する量の発電が可能

【出典一覧】

- P.12
- *1 セメント協会,セメントの需給,
<https://www.jcassoc.or.jp/cement/1jpn/jh1.html>
 - *2 北海道生コンクリート工業組合,出荷量推移 月別,
<https://www.doukouso.or.jp/by-month/>
- P.13
- *1 旭・デュポンフラッシュスパンプロダクツ株式会社,タイベック®とは,
<https://www.tyvek.co.jp/construction/owner/tyvek/>
- P.18
- *1 札幌市,北海道・札幌市が目指す姿（構想の概要）,
<https://www.city.sapporo.jp/kikaku/gx/documents/tokkugaiyozentai.pdf>
 - *2 GX集積 道内始動 道・札幌市 金融特区に選定,北海道新聞社,2024-06-05,朝刊,p1
- P.19
- *1 e-kensinニュース 北海道建設新聞,北海道バレー構想実現へ 苫小牧―石狩ルートをDX・GX拠点に,
<https://e-kensin.net/n/n11ee7c9d29ef>
- P.20
- *1 Rapidus株式会社,Rapidus、IIM-1の起工式を開催,
https://www.rapidus.inc/news_topics/news-info/rapidus-held-groundbreaking-ceremony-for-iim-1/
 - *2 ラピダス効果 最大18.8兆円 14年間 道内総生産11兆円増,北海道新聞社,2023-11-22,朝刊,p1
- P.21
- *1 東急不動産株式会社,「石狩再エネデータセンター第1号」着工～再生可能エネルギー100%で運営するデータセンター～,
<https://www.tokyu-land.co.jp/news/uploads/b13d69815940fc60f187a921cdb06d131af5b683.pdf>
 - *2 ソフトバンク株式会社,次世代社会インフラ構想の要となる大規模な計算基盤を備えたデータセンター「Core Brain」を構築～北海道苫小牧市に高いデータ処理能力を有するデータセンターを建設、産官学へ計算基盤の提供を予定～,
https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2023/20231107_01/
 - *3 苫東DC 先行整備650億円 ソフトバンク 経産省、300億円補助,北海道新聞社,2023-11-08,朝刊,p1
- P.22
- *1 洋上風力 道内5区域格上げ 最短1年で整備可能に,北海道新聞社,2023-05-12,朝刊,p1
- P.23
- *1 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構,北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）工事の状況について,
<https://www.jrtt.go.jp/project/20240508hokkaidoannouncement.pdf>

【出典一覧】

P.24

- *1 株式会社大京,ザ・札幌タワーズ,
<https://lions-mansion.jp/MB151014/>
- *2 札幌市,大通西4南地区,
<https://www.city.sapporo.jp/toshi/saikaihatsu/odori-w4s.html>
- *3 北海道旅客鉄道株式会社,北海道新幹線,
<https://www.jrhokkaido.co.jp/corporate/shinkansen/stretching.html>
- *4 株式会社ベルーナ,札幌駅前に、地上約100m・605室の大規模な宿泊特化型ホテルが誕生！ベルーナ 2025年4月に「SAPPORO HOTEL by GRANBELL」を開業予定北海道らしさのあるアートワークや照明を使った、新ランドマークホテル,
<https://www.belluna.co.jp/pdf/230116sapporohotelbygranbellopen.pdf>
- *5 札幌市,北4西3地区,
<https://www.city.sapporo.jp/toshi/saikaihatsu/redevelopment/jigyo/chuo/consult/n4w3.html>
- *6 札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発組合,北5西1・西2地区第一種市街地再開発事業,
<https://sapporo5152.jp/>

P.25

- *1 北海道旅客鉄道株式会社,北海道ポールパークF ビレツジ隣接地に設置する千歳線新駅計画について,
https://www.jrhokkaido.co.jp/CM/Info/press/pdf/20230913_KO_Kitahirosima.pdf
- *2 株式会社日本エスコン,レ・ジェイド北海道北広島,
<https://sumai.es-conjapan.co.jp/kitahiroshima197/design/>
- *3 株式会社日本エスコン,トナリエ北広島,
<https://tonarie-kitahiroshima.jp/>
- *4 朝日新聞Thinkキャンパス,朝日新聞社,【写真】プロ野球場そばに医療大が新キャンパス 一体化のメリットは?,
<https://www.asahi.com/thinkcampus/photo-110709/>

p.26

- *1 内閣官房,防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策 概要,p1
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/5kanenkasokuka/pdf/taisaku_gaiyou.pdf

p.27

- *1 国土交通省,防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（北海道ブロック版）を策定～今後5か年の目標を示し、取り組みを重点的かつ集中的に実施～,p6
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/slo5pa00000050th-att/slo5pa0000005m6s.pdf>

P.28

- *1 内閣官房,令和6年度国土強靱化関係予算案の概要,p8,
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/pdf/r06kankeiyosan.pdf

P.29

- *1 北海道電力株式会社,泊発電所 新たな防潮堤設置工事の概要,
https://www.hepco.co.jp/info/2023/_icsFiles/afieldfile/2024/03/22/240322_2a.pdf

本日はご清聴ありがとうございました。
厚く御礼申し上げます。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点での入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その正確性を保証するものではありません。

実際の業績等は、業況の変化により本資料の予想数値と異なる場合がありますので、本資料のみに依拠して投資判断されることはお控えください。